

## 式辞

春爛漫の桜の季節が過ぎ、楠若葉が青空に金色の照葉を揺らす季節が始まろうとする今日の佳き日に、兵庫県立加古川南高等学校 第36回入学式を挙げるにあたり、多数のご来賓、並びに保護者の皆様方にご臨席を賜りましたこと、心よりお礼を申し上げます。

担任の先生からの呼名に起立した一人一人の瞳と引き締まった口元に「期待」とそれぞれの「熱い思い」を感じ取ることができました。ただいま入学を許可いたしました二百四十名の新入生の皆さん、入学誠におめでとうございます。本校教職員並びに在校生一同、心より皆さんを歓迎いたします。皆さんは本校第36回生、総合学科第18期生として青春の日々をスタートさせました。

本校は、昭和58年に開校し、平成13年度からは、普通科から総合学科に改編しました。創立以来の「真実」(まこと)「剛毅」(ごうぎ)「知恵」(ちえ)の校訓のもと、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」をはぐくむ教育に力点を置き、夢や志を高く持ち、自立して挑戦する生徒の育成を目指すべく、総合学科の教育システムを活かし、生徒自らが自発的、能動的に取り組む教育を推進してまいりました。

さて、先ほど第36回生諸君に「青春」という言葉を使いました。ドイツの文豪ゲーテは青春時代を「シュトゥルム・ウント・ドラング」(Sturm und Drang)日本語では疾風怒濤の時代と表現しました。15歳から18歳という知性、心、身体が急速に発達し、大人の完成へと向かっていく時期です。成功と挫折が織り交ぜられる一筋縄ではいかない時代でもあります。

しかし、恐れる必要はありません。急速に変化する時代ではありますが、まだ誰も見たことのない希望の世界の到来でもあるのです。だからこそ夢や志を実現するための根底となる力を本校で獲得してほしいと思います。

私は本校の教育のモットーを

「一生ものの人間力を育てる学校」と銘打ちました。

一生ものの人間力とはどのようなもののでしょうか。私たちが生きる世界を筋道が通っている一貫性のあるものとして捉えることでその世界に生きる自分の日常

や人生には意味があると思える確信を持つ力のことだと考えます。この確信には3つの要素があります。

まず1つ目は、この私たちが生きる世界をがっちり両手でつかまなければなりません。高等学校でも英語や国語をはじめとした言語を学び、数学を学び、歴史を学び、自然科学を学びます。この世界を深く知ることにより世界は秩序立っており、予測と説明が可能であるという確信を得ることが初めてできるのです。

2つ目は、私たちは日々生きて行くためには様々な課題に直面します。生活上の小さな選択から進路決定という大きな課題、そしてそれを突破し自己を実現していくための数年にもわたる努力。どのような課題が現れようとも「なんとかなる・乗り越えられる」という確信が必要となります。自分が獲得した知性やアイデンティティー、例えばコツコツとやり遂げる自分、周りを笑顔にするキャラクターといった資質・能力を身につける必要があります。しかしこの確信は自分だけで乗り越えようとする孤独な戦いではありません。例えば「頼めば必ず手を差しのべてくれる友人、サポートしてくれる保護者の存在、自分には温かい先生方がいる」という確信も含まれます。この確信は日々の小さな成功体験や挫折、喜びや悔しさなど人間関係の実体験を通して得られるものです。

3つ目は私の人生は意味がある、という確信です。人生は生きるに値するものであり、挑戦する価値があり、心身を投入し関わるに値するという確信です。「生きがい・やりがい・働きの感じが感じられる」「生き生きしている・喜びや楽しみに満ちている」というポジティブな感覚のことです。

これら3つの確信は良質な人生経験によって育まれます。高等学校における科学学習や部活動、および文化祭をはじめとした各種行事といった全ての教育活動に無駄なものは一つもなく、良質な人生経験そのものであると意味づけることができます。

これら、首尾一貫した自分と世界をつなぐ確信を身につけ、激変する時代に果敢に挑戦してほしいと思います。本校総合学科では学びをオーダーメイドに設定することができ、キャリア教育における体験活動など心と体と頭脳をフル回転に動かす教育を展開し、自信を持って生きていける力を教職員が一丸となって実践いたします。

最後になりましたが、保護者の皆様方、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。今日まで、慈しみ、育てられましたお子様が、本日高校生になりました。そのお喜び、感激はひとしおのことと拝察いたします。皆様方から本校にお寄せいただいております大きな期待に、教職員一同、責任の重さを痛感いたしております。

私ども、教職員一同は、学校とご家庭との密なる連携によってお子様の健やかや成長を期したいと思っています。

どうか本校の教育方針をご理解いただきまして、ご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

では、新入生の皆さん、一生ものの人間力を育み、素晴らしい青春時代の幕開けを祈念して式辞といたします。

平成三十年 四月 九日

兵庫県立加古川南高等学校長  
原 実男